

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0901005

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○償還期間 平成12年度～平成28年度 ○償還額 362,002千円  地元負担金(町負担分)の繰上償還を行い経費削減が図られる。
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	枝幸南部地区国営総合農地開発事業償還負担金	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	事業償還負担金		#N/A	
事業目標	20～24年度	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	1 住民の関与が有る	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画内容	この事業により、周辺未利用地の開発と併せて既耕地の改良を行い経営規模の拡大と土地生産性の向上を図ることによって、農業経営を安定させるため行った国営事業の地元負担金を優先して償還する。	事業償還負担金	事業償還負担金	事業償還負担金	事業償還負担金	事業償還負担金	
計画事業費	事業費(千円)	24,210	4,842	4,842	4,842	4,842	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	24,210	4,842	4,842	4,842	4,842		
一般財源	0						
実績事業費	事業費(千円)	24,215	4,843	4,843	4,843	4,843	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	21,446	4,254	4,319	4,292	4,265		
一般財源	2,769	589	524	551	578		
関連事項	(特定財源の詳細等) ・受益農家負担金	【評価・実績】	(実施内容等) 事業償還負担金 4,843千円	(実施内容等) 事業償還負担金 4,843千円	(実施内容等) 事業償還負担金 4,843千円	(実施内容等) 事業償還負担金 4,843千円	
			※前年度評価結果 B-継続/現状維持	※前年度評価結果 B-継続/現状維持	※前年度評価結果 B-継続/現状維持	※前年度評価結果 B-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	事業償還負担金・4,842千円	事業償還負担金・4,842千円	事業償還負担金・4,842千円	事業償還負担金・4,842千円	事業償還負担金・4,842千円
		年度達成率	100%	100%	100%	100%	100%
		全体達成率	20%	40%	60%	80%	100%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	

事業名	枝幸南部地区国営総合農地開発事業償還負担金	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	辻 栄 浩 二

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	枝幸南部地区受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	負担金の納付率		
【抱える課題やニーズは】	離農者の償還負担金の滞納		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	償還負担金100%の納入		① 受益者負担額/納付額	目標年度	平成24年度
				目標値	4,843千円
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	償還負担金の完納		②	実績値	4,236千円
		達成度		87.5%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	償還負担金請求事務	納付書の発行、滞納者への納入督促			

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	枝幸南部地区国営総合農地開発事業で整備した農地造成や農業用排水に係る負担金を償還するものであり、償還表に基づいて受益者が負担金を償還するために必ず行う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	受益者から負担金を徴収し、オホーツク総合振興局に納付することができたが、一部受益者に未納があったことから、完納に向けたさらなる取り組みが必要である。
	<input type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	納付書の発付及び督促状の送付であり、その他の事業費は発生していないので、これ以上のコスト削減はできない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	関係受益者全てに負担金の納入を求めているところであり、一部の受益者に滞納が見られるが、概ね公平であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
本事業償還金のうち約9割の償還負担金の納付があり、ほぼ計画どおり進んでいるが、一部滞納が発生している。	同左	

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持	継続/現状維持	
本事業は地元負担金の償還であり、必要な事業であるが、滞納分については一般財源により納付していることから、完納に向けた督促方法などの検討が必要である。	同左	

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止